

昭和55年度 学位授与・単位修得論文一覧

〔論文題目, 提出者氏名, (指導教官)〕

昭和55年度 博士課程単位修得論文

商学研究科

企業の倒産リスクと資本構成 (I・II)	小山 明宏	(宮川 公男)
アメリカ石油企業の企業行動——20世紀初頭——	済藤 友明	(米川 伸一)
米国管理会計発達史 (続) (1・2・3・4)	廣本 敏郎	(岡本 清)
利子率とインフレ期待	小藤 康夫	(花輪 俊哉)

経済学研究科

規模の経済性と寡占的市場構造の形成	大西 幹弘	(関 恒義)
ニューディール期政府建設支出の効果と その規定要因	塚田 広人	(種瀬 茂)
社会的選択における誘因問題	藤垣 芳文	(宮沢 健一)
日本の産業間労働移動	牧野 文夫	(南 亮進)
平安時代における郡司制の研究	川島 茂裕	(永原 慶二)
好況分析と〈生産と消費の矛盾〉	由井 敏範	(高須賀義博)
ASPECTS OF THE THEORY OF EXCHANGE AND MONEY	明石 茂生	(荒 憲治郎)
独占価格の形成メカニズム——部門内競争制限論と 部門間競争制限論の検討——	福田 泰雄	(松石 勝彦)
責任ルールと企業行動	野本 了三	(宮沢 健一)
中世イングランドにおける一円的領域支配	国方 敬司	(浜林 正夫)
戦前日本農業の諸問題 ——小作争議と国家の政策的対応——	庄司 俊作	(中村 政則)
価値形態論における「価値」	斉藤 実男	(高須賀義博)
12世紀中葉に至る迄のオーストリアの国制的発展	石橋秀一郎	(山田 欣吾)
豊臣体制論序説——島津氏領国を例として——	桜井 克己	(永原 慶二)

法学研究科

給付障害と牽連関係(1・2)	小野 秀誠	(好美 清光)
訴訟告知制度	佐野 裕志	(竹下 守夫)
UCC の法理論と法典方法論の理論構造(上・下)	吉田 直	(喜多 了祐)

社会学研究科

世紀転換期のコーチシナにおける農業経営と土地所有

	菊池 道樹	(山田 秀雄)
オランダ植民地支配とジャワ社会の再編成	宮本 謙介	(山田 秀雄)
民族化政策の成果と問題点		
——メキシコ鉱業の場合——	星野 妙子	(山田 秀雄)
若きルカーチにおける人間と倫理	吉田 正岳	(岩崎 允胤)
モデル論的認識モデル	丸山不二夫	(岩崎 允胤)
美の歴史性	照井日出喜	(岩崎 允胤)
ヒルファディングと帝国主義戦争	河野 裕康	(古賀英三郎)
市民社会批判の方法と分業概念	山梨 彰	(富沢 賢治)
シカゴにおける黒人ゲート形成の社会史的考察	竹中 興慈	(本田 創造)
ケニアのキプシギス族の住居とそのシンボリズム	小馬 徹	(長島 信弘)
「経験をめぐるカントの思索」		
——その初期および転換期の姿——	高野 敏行	(鈴木 秀勇)
労使関係過程理論の展望	藤原 道夫	(津田 真澄)
収斂論的再考	佐藤 博樹	(津田 真澄)

昭和55年度 修士学位論文

商学研究科

マールベルク中和化理論の研究	壺岐 芳弘	(森田 哲弥)
アメリカ時価主義会計の研究(上・下)	須田 一幸	(中村 忠)
賃金報酬とインセンティブ, 監視,スクリーニングシステム	松井 美樹	(宮川 公男)
企業評価理論の展開	佐藤 修	(宮川 公男)
韓国企業の現状と問題点の分析	李 載昌	(矢島 基臣)
金利平価説に関する一考察	金 文在	(花輪 俊哉)
我国の生成期の商品学とその社会的役割	田中 讓	(片岡 寛)
ソーシャル・マーケティングに関する一考察	野口 智雄	(田内 幸一)
戦後の日本海運政策の展開とその評価(上・下)	関 品方	(地田 知平)

経済学研究科

公共財供給と公平性	大成 郁寛	(宮沢 健一)
統計量と部分加法族	川副 延生	(鍋谷 清治)
数量制約を伴ったミクロモデル	佐々木宏夫	(二階堂副包)
好況過程と「第1部門の不均等発展」	磯谷 明德	(種瀬 茂)
独占資本主義の流過程における 流通支配に関する一考察	湊 憲一	(関 恒義)
宇野「原理論」における価値法則の「論証」 ——宇野経済学への一視座	海老塚 明	(高須賀義博)
戦後日本のカメラ産業の発展 ——労働集約的輸出産業の一事例	張 炳翼	(南 亮進)
CHINA'S QUEST FOR FOREIGN TECHNOLOGY	劉 震華Davy	(山沢 逸平)

法学研究科

養子縁組における子の福祉(1・2)	許 末恵	(島津 一郎)
Undisclosed Principal	桑原 康行	(喜多 了祐)

フランス株式会社における業務執行と監督	布井 千博	(堀口 亘)
独占禁止法の“競争”についての一考察	平川 幸彦	(久保 欣哉)
H. ラウターパハトの国際法理論(1・2)	臼杵 英一	(皆川 洸)
危険除去法における個人の保護	今村 哲也	(市原昌三郎)
アメリカ合衆国における		
平等権の現代的展開(上・下)	鎌田 猛	(堀部 政男)
事実と価値の二元論とその超克の試み	高橋 文彦	(上原 行雄)
行政行為の附款をめぐる諸問題	藤原 静雄	(市原昌三郎)

社会学研究科

ベルクソンの時間論	阿部 一智	(鈴木 秀勇)
パスカルにおける自然学の方法		
—真空論争をめぐる—	大野 博人	(鈴木 秀勇)
超越論的演繹の構造と方法	高野 昌行	(鈴木 秀勇)
「精神の現象学」における「感性的確信」の研究	田中 保敏	(岩崎 允胤)
ルソーにおける人間と市民の問題	岡本比呂志	(岩崎 允胤)
初期ヘーゲルにおける哲学的思惟の発展	横山れい子	(岩崎 允胤)
カリスマの思想史(ゾームからウェーバーへ)	江頭 誠悟	(古賀英三郎)
The Theoretical Strategy of George Homans	李 少勤	(古賀英三郎)
啓蒙主義の言語意識	糟谷 啓介	(田中 克彦)
ロシア自由主義における西欧とロシアの問題	杉浦 秀一	(良知 力)
モーゼス・ヘスの歴史哲学とユダヤ人問題	野村 真理	(良知 力)
ヤノマモ族の社会構造	福間 和仁	(長島 信弘)
マダガスカル農民の社会構成と		
親族体系に関する民族誌的草稿	深沢 秀夫	(長島 信弘)
パートタイム雇用制度の実態研究	林 大樹	(津田 真澄)
日本ファシズムと民衆動員	小倉 裕児	(藤原 彰)
1920年代の労働政策		
—内務省社会局を中心にして—	林 博史	(藤原 彰)
日本ファシズム形成期における農村構造		
—新潟県経済更生運動の分析を通して—	平賀 明彦	(藤原 彰)

原敬の軍部観と対軍部政策

エミリアーナ・ヘラワティ・チャンドラ

(藤原 彰)

第三世界都市と自生集落

——パプアニューギニアを事例に——

熊谷 圭知

(竹内 啓一)

政府土族授産政策と小野田セメント

米倉誠一郎

(佐々木潤之介)